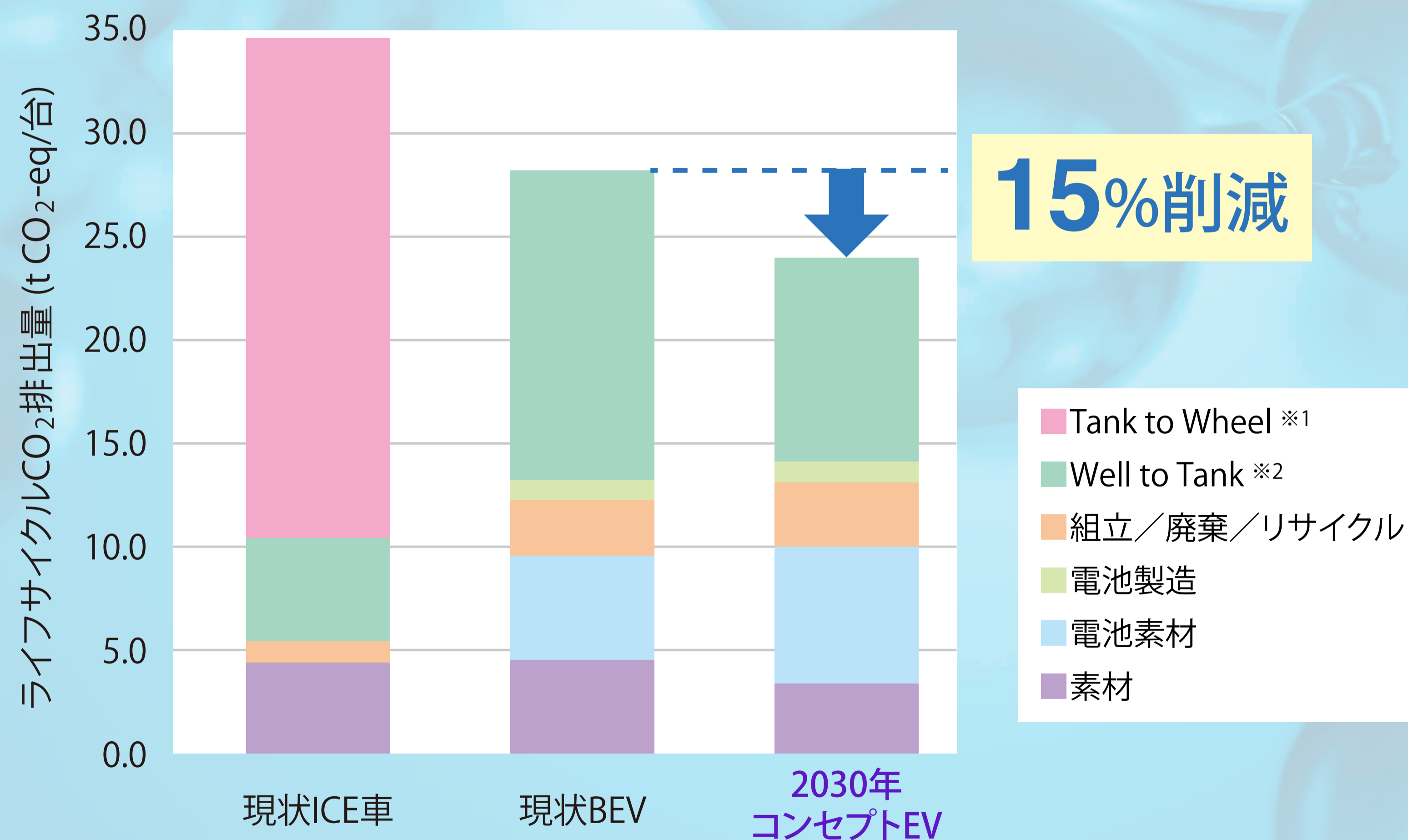


三菱ケミカルは技術によるEV高性能化と環境負荷低減

ライフサイクルCO₂排出量の試算

前提条件

- ICEとBEVはIEA2020より引用 <https://www.iea.org/reports/global-ev-outlook-2020>
- 2030年コンセプトEVは公表値を参考に独自算出
- 15万Km走行時の値
- 発電CO₂は各データ共通



| | | | |
|---------------|-------|-------|-------|
| 車重量(kg) | 1,220 | 1,640 | 1,080 |
| 実走行距離 (Km/充電) | — | 385 | 740 |

34%削減
ほぼ倍増



当社が2030年に想定する
コンセプトEV

環境負荷低減効果

素材

低CO₂、環境対応各種素材の多用

走行

徹底した樹脂化による軽量化

電池

高性能、低環境負荷、高安全ソリューション

※1: Tank to Wheel

燃料タンクに燃料が入っている状態から、走行時に排出するCO₂

※2: Well to Tank

燃料をタンクに入れるまでに、あるいは電気を発電して電池に溜めるまでに排出するCO₂